

共創・共に創るとは
—佐々木正塾で考える—

開倫塾
塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今日は、私が勉強させていただいているある研究会のお話を少しさせていただきます。私は、去年の10月から佐々木塾というところの世話人をさせていただいています。佐々木塾の塾長は、佐々木正先生です。佐々木先生は1915年生まれで、今年98歳になりました。日本の電子工学の先駆者で、シャープの元副社長さんです。現在はシャープの顧問をなさっておられ、工学博士でもあります。佐々木ロケットあるいはロケット佐々木という別名を持つ先生で、京都帝国大学を卒業後に現在のシャープに入って研究と技術の開発をなさり、シャープを日本有数の電機メーカーに育てられました。世界ではじめてのポケットに入る超小型電卓や液晶テレビの開発・事業化で世界的に知られる研究者であり、日本の半導体産業の基礎を築いたといわれる方でもあります。また、ソフトバンクの大恩人とされていまして、孫正義さんやアップル社のスティーブ・ジョブズさんの恩師に当たる方です。
3. そのような素晴らしい佐々木先生は、「共創・共に創る」という考えが大事であるとの考えをお持ちです。違う価値観のものを合わせながら新たなものを創り出す、これが共創という考えです。その「共創・共に創る」という考えを持つと、そこに参加した人に物語が生まれて、よい結果を生み出すということです。例えば、佐々木先生はシャープ時代に多くのプロジェクトを立ち上げたそうですが、その際に異なった部署から色々な人を集めてチームを作ったときのほうが上手くいき、超小型電卓や液晶テレビが開発できたという体験をなさったとのこと。これも「共創・共に創る」の成果だとおっしゃっています。
4. この佐々木先生が、東京にあるかんき出版という出版社の本社の会議室で、15名の生徒さんの佐々木塾を1か月に1回開いていらっしゃいます。生徒さんといっても皆さん立派な方ばかりで、上場会社の社長さんや会社の幹部の方もいらっしゃいます。また、東京工業大学の大学院で勉強なさっている方もいらっしゃいます。若い方から中堅の方まで15名が集まって「共に創るとはどのようなことか」を考えながら、午後1時から懇親会を含めると夜の7時ぐらいまで佐々木先生と一緒に議論をしています。この佐々木塾ではゲストの先生方を毎回お招きしてお話を伺い、佐々木先生も1時間お話をされます。

5. 佐々木先生は、日本ではどちらかという気が合うということで、同じような性格の人を集めがちだが、これでは同じ考えしか集まってこないと危惧され、「共創・共に創る」の考えで共鳴していくことの大切さを力説なさっています。この考えは、会社の経営だけでなく国同士の関係にも通じていて、日本も中国や韓国などの長所を取り入れながら、それらと日本の長所とを「共創・共に創る」ことが大切だと訴えていらっしゃいます。

6. 先程も紹介したように、佐々木先生は今年で 98 歳を迎えますが、今でもびっしりと予定が入っています。いつか私の住んでいる足利市で講演をなさって下さいませんかとお願ひしましたら、100 歳までは毎日予定が入っていて忙しいから無理だけれども、100 歳を過ぎたら今の活動を少し楽しもうと思っているので足利市に行ってお話をしあげますよと約束して下さいました。そのくらい多くのビジネスパーソンや研究者の人たちと毎日のように情報交換をしたり、「共創・共に創る」の重要性を話し合ったりして、非常に楽しみながら活躍なさっています。

佐々木先生はまた、この 21 世紀に日本の企業が世界で生き残って堂々と勝ち抜いていくためには、大企業はもちろん中小企業も含めた民間企業と、大学などの教育・研究機関、政府・自治体などの産学官、つまり産業界と大学や大学院などの学問の世界、政府・自治体の産学官での相互理解・相互信頼に基づく共創の原理の実践、共にものごとを創ろうという原理を実際に行っていく共創の原理の実践が必要になるとお考えです。

7. 佐々木先生は、一人ひとりの持つ潜在的なエネルギーを引き出して組織の力にするためには、夢・志・使命を共に創り出すという共創の精神に基づいたマネジメントが求められるとよくおっしゃいます。このようにするとよいことづくりができるのではないかとよくおっしゃいます。ここに物語が生まれてよい人づくりができ、結果としてよいものづくりができるのではないかとよく言われます。つまり、よいことづくりができると、物語が生まれてよい人づくりができ、結果的によいものづくりができるということです。

8. 佐々木塾では、これからの日本を担うべき次世代のリーダーの方々を対象にして、産業界・大学等の教育機関・思想界つまりものごとを深く考える思想の世界などの日本を代表する方々に講師をお願いして語りかけていただいています。そして、佐々木先生も毎回 1 時間お話をされます。私は世話人としてずっと先生のお話を聞いていますが、こんなに立派な先生はいないと心から思います。先生は御自身も含めて共に学ぶ場にしたいと願って、佐々木塾を開いておられます。

9. 私は去年の 8 月からずっと毎月 1 回佐々木先生と半日過ごさせていただいていますが、このような立派な方がいらっしゃったお陰で日本はここまで来れたのだと心から尊敬しています。皆さんも 98 歳になられた佐々木正先生、先生はシャープの元副社長さんで日本の半導体の基礎をつくった方ですが、この方を見習っていただき、100 歳過ぎまで元気に活躍していただければと思います。